

お手入れ方法について

●安全に長くお使いいただくために大切な内容です

- 清掃をするときは、ランプを器具から外さずに行ってください。
- 必ず電源を切り、ランプや器具本体が冷えたあとに水拭きしてください。点灯したまま行くと、やけどや感電・破損の原因になります。口金などの金属部分は、水・洗剤や薬品などを使わないでください。
- 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いたあと、洗剤分が残らないように固くしぼった布などで水拭きしてください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性液体を使用したり、殺虫剤をかけないでください。変色や破損の原因になります。

故障かな？と思ったときは

●使用中に異常と思ったときは、本書をよくお読みのうえ下記の点を再確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置
点灯しない	●明るい場所に設置している	●暗い所で確認してください。 明るい場所では点灯しません。
	●電源がOFFになっている	●電源をONにしてください。
感知エリアの中に人が入ったのに点灯しない	●感知エリアがさえぎられている	●センサーの前に障害物があると人の動きを感知できません。場所を変更してください。
	●夏場など、周囲の温度と人体の温度が近くなり、温度差がない	●センサーは人の動きによる温度変化を感知するため、左記の場合などは感知しにくくなる場合があります。
	●防寒着やヘルメット・手袋などで体温が遮断されている	
	●非常にゆっくりとした動作で感知エリアに侵入した	
感知エリアの中に人がいないのに点灯する	●感知エリア内に誤動作源がある ・熱を発生する機械など ・エアコンなどの送風する機器	●感知エリア内の誤動作源を取り除いてください。
感知エリアの中に人がいるのに暗くなる	●感知エリア内で人が静止している	●感知エリア内で人が静止していると減灯し、待機状態になります。
暗くならない	●感知エリア内に人や熱の発生源がある	●感知エリア内に人がいたり、熱の発生源があると点灯します。
	●常時点灯モードになっている	●人感センサーモードにしてください。

●上記に関連する人感センサーの特性については、「使用上の注意」にも記載しています。あわせてお読みください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

■保証期間

保証期間は、お買い上げ日より3年間です。
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。
※物件または使用環境により保証内容が異なることがあります。詳しくは担当営業にお問い合わせください。
保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できるものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。保証期間内でも有料になることがあります。詳しくは保証規定をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店、またはLED照明サポートコールにお問い合わせください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510
仙台市青葉区五橋2丁目12番1号

法人向けLED照明
ホームページ

<http://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/>

製品に関するお問い合わせは(通話料無料)

LED照明サポートコール

0800-111-5300

(受付時間) 平日9:00～17:00、土・日・祝日9:00～12:00／13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAXでのお問い合わせは
(通話料無料)

0800-888-2600

Webからのお問い合わせは

(メールフォームにご記入のうえ送信してください)

<https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/contact/>



ECOHiLUX HE S
エコハイルクス

人感センサー

人感センサー付き 直管LEDランプ 片側給電

このたびはアイリスオーヤマ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にご使用ください。また、この施工説明書は大切に保管してください。

共通取扱説明書

保管用

電気工事必要

この製品の取り付け工事は、必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。資格を持たない方による電気工事は、法令で禁止されています。

安全上の注意	ここに示した注意は、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。 いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。		
図記号の意味	注意を促す記号	してはいけない [禁止] 内容	しなければならない [指示] 内容
重要	●専用器具に取り付ける ランプは必ず専用器具に取り付けてください。既設器具が蛍光灯照明器具である場合は、必ず片側給電への変更工事を行ってください。		
●既設器具が蛍光灯照明器具の場合 配線変更工事を行ってください。 ・既設器具の配線変更工事 安定器を外し、ソケット配線を右図のように片側給電に変更してください。 ※配線は他のアイリスオーヤマ製直管LEDランプと異なります。		配線概要図 ※間引き点灯の場合は分岐回路を設け、必ず非接地側の個別スイッチで消灯してください。	

施工者様へ	施工上の注意	お客様へ	取り扱い上の注意
警告		警告	
	電源は定格電圧・定格周波数で使用する 電源電圧AC100-242V(電圧変動±6%以内)、周波数50Hz／60Hzであることを確認してから、ランプの取り付けを行ってください。正しく使用しないと、短寿命や火災の原因になります。		点灯異常の際は電源を切る 異常を感じたときは速やかに電源を切り、工事店・電気店にご相談ください。そのまま継続使用すると、火災や落下によるけがの原因になります。
	施工や配線は有資格者が確実に行う 有資格者が技術基準・内線規定にしたがって、上記の配線概要図のとおりに施工してください。施工が正しくないと、感電や火災の原因になります。なお使用年数が長い器具の場合には、安全に継続使用可能かを同時に判断してください。		ランプの取り付け・交換を行わない ランプの取り付けや交換は、営業担当またはアイリスオーヤマ指定の販売代理店に依頼してください。正しく取り付けないと、不点灯や故障の原因になります。
	粉塵・オイルミスト・引火性ガスの発生する場所には取り付けない 発熱・発煙や発火の原因になります。		可燃物を近づけない 器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、あるいは燃えやすいものや可燃性ほ家具などを近づけたりしないでください。近すぎると被照射物の変形・変色・火災の原因になります。
	さびの出やすい場所、粉塵・引火性ガスの発生する場所に取り付けない 粉塵の多いところ、または引火性ガスのあるところでは使用しないでください。発熱・発煙・火災の原因になります。		破損器具を使用しない 器具が破損した状態で使用しないでください。すぐに電源を切り、工事店・電気店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。
	分解や改造はしない 器具の分解や改造、部品の追加・変更や塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災の原因になります。		分解や改造はしない 器具の分解・改造や部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災などの原因になります。
注意		注意	
	ランプを交換する時は電源を切る 感電や破損の原因になります。		定期的な点検を行う 3年に1回は専門家(工事店・電気店)による点検を実施してください。設置して8～10年※経つと、外観に異常がなくても劣化は進行します。点検せずに長時間使用を続けると、まれに発煙・発火や感電などの原因になります。 ※使用条件: 周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。(JIS C8105-1解説による)
	屋内の適正温度(5～35℃)の場所に取り付ける 屋外や高温環境で連続使用すると、故障や短寿命の原因になります。		落下防止パーツを取り付ける(直管LEDランプ86形) 直管LEDランプ86形を取り付ける際は、必ず落下防止パーツやランプホルダーを使用してください。
	硫黄成分がある場所には取り付けない 一般屋内で使用する場合でも、メッキ工場など硫黄性ガス・蒸気や液体にさらされる可能性のある場所では使用しないでください。光学性能に影響を与える場合があります。		光を直視しない 点灯中にランプを直視しないでください。目を痛めることがあります。
	振動・衝撃をあたえない 振動を与えると、落下や器具破損の原因になります。		使用中・使用直後に触らない 点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。やけどの原因になります。
	湿気の多い場所、雨水のかかる場所に取り付けない 屋外や雨の吹き込みを受ける場所、湿気・水気のある場所では使用しないでください。湿気により絶縁不良となり、漏電や感電の原因になります。		
	高温・直射日光・振動・腐食性ガスの発生する場所に取り付けない 高温(35℃を越える場所)、直射日光の当たる場所、酸などの腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。器具の腐食や落下の原因になります。		

製品仕様

●人感センサー付き直管LEDランプ 品番構成

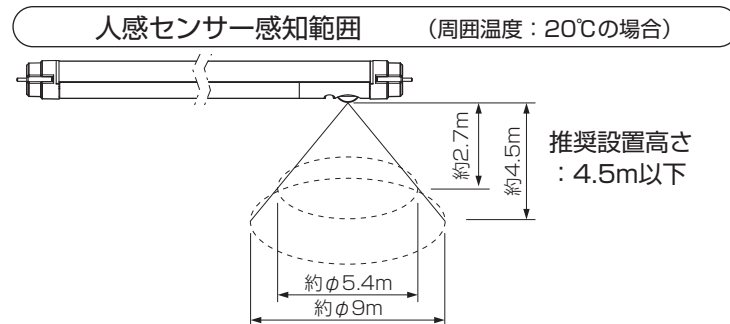
LDG 32 T・N / 10 / 15 MSW									
記号	形		色温度 (欄外参照)		消費電力 (W)		全光束 × 100(lm)	照度タイプ	
								記号	待機状態明るさ
LDG	□	T	□	/	□	/	□	MSW	低照度／10%点灯
								MSO	低照度／消灯
								MS2W	高照度／10%点灯
								MS2O	高照度／消灯
LDRd	□	T	□	/	□	/	□	MSW	低照度／10%点灯
								MSO	低照度／消灯
								MS2W	高照度／10%点灯
								MS2O	高照度／消灯

色温度 (K)

D : 6500 N : 5000 W : 4000 WW : 3500

- 定格電源電圧：AC100-242V
- 定格電源周波数：50／60Hz
- LEDモジュール設計寿命：40,000時間*
- 演色性：Ra83
- 製品の仕様は予告なく変更することがあります。

※LEDモジュール設計寿命は、ランプが点灯しなくなるか、全光束が85%に低下するまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。製品の寿命を保証するものではありません。

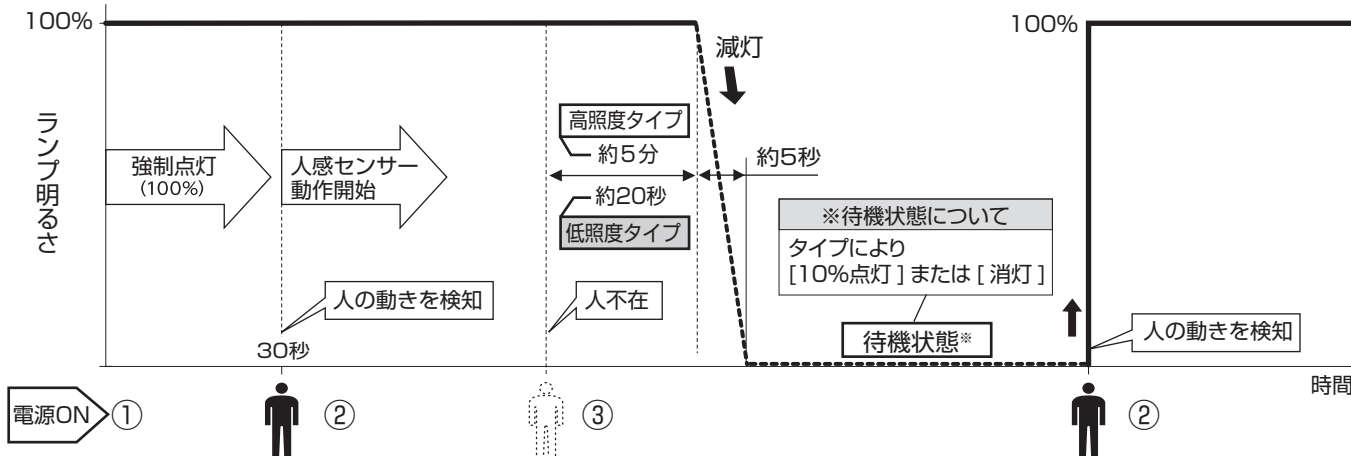


点灯モードについて

本製品は人感センサーと明暗センサーによって以下の動作をおこないます。

■人感センサーモード（明暗センサー機能付）

本製品に搭載されている人感センサーは、感知エリア内の熱源の動き（温度変化）に反応します。



①点灯スイッチで電源を入ると、電源・センサー回路の準備のため明るさ100%で約30秒間点灯します。

②人（熱源）の動きを検知すると明るさ100%で点灯します。

同時に明暗センサーがはたらき、周囲の明るさが低照度タイプでは200 lx以上、高照度タイプでは750 lx以上の時に、品番に応じて[減灯（10%点灯待機）]、または[消灯（待機）]の状態になります。

③人（熱源）の動きが感知できなくなったら、高照度タイプで約5分、低照度タイプで約20秒経過すると、品番に応じて約5秒後に[減灯（10%点灯待機）]、または[消灯（待機）]の状態になります。

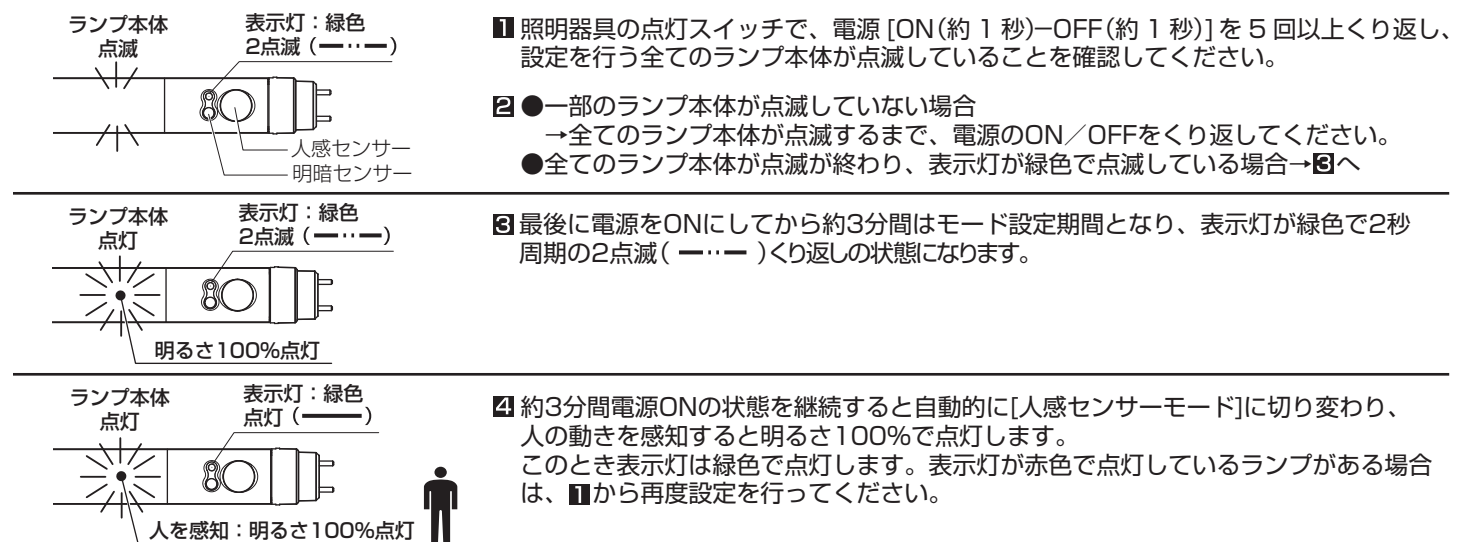
●上記動作条件は、各センサー部直下の環境によって変化することがあります。希望通りに動作しないときは、「故障かな?と思ったときは」または「使用上の注意」をよく読んで確認してください。

■常時点灯モード（工場出荷時の点灯モード）

常にランプ明るさ100%で点灯します。（表示灯が赤色で点灯）

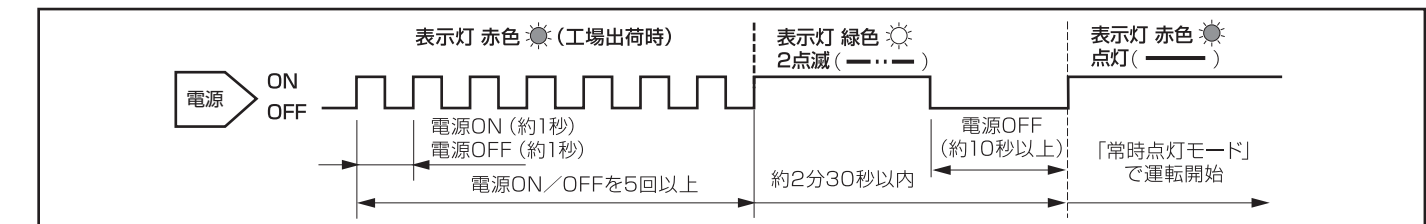
モード設定について

1 「人感センサーモード」に設定する



2 「常時点灯モード」に設定する

- 前記手順の「1 [人感センサーモード]を設定する場合」の②の操作まで行ってください。
- 表示灯が緑色の2点滅をしている状態で、点灯スイッチで電源を約10秒以上OFFにします。次に電源をONにすると[常時点灯モード]で点灯します。
- 設定した全てのランプの表示灯が、赤色で点灯していることを確認してください。緑色で点灯しているランプがある場合は、1から再度設定を行ってください。



⚠使用上の注意 ●人感センサーの特性、並びにLED照明取り扱い上の一般注意

- ルーバーや落下防止パーツなど、センサー部をささげる器具には使用できません。
- 人感センサーの特性上、周囲の明るさ、周囲の温度変化、人の移動速度、設置場所によってセンサー感度に差が出ます。
- 人感センサーの特性上、感知範囲に直射日光が入ったりセンサーに直射日光が当たる場所では、人感センサーが動作しなかったり、誤動作することがあります。
- 人感センサーの特性上、下記のような場所では動作しなかったり、誤動作することがあります。
 - ・周囲の温度が高く、体温との差がない場所
 - ・温度が高い設備や暖房器具のある場所
 - ・加湿器やエアコンなどの送風を受ける場所
 - ・ガラスや壁越しの場所
 - ・カーテンの近くや風などでゆれる植物などがある場所
 - ・光の反射が強い大理石の床や壁などの近く
 - ・運搬などの台車や機械がある場所
 - ・ランプが振動する場所
- 人感センサーは風が当たると誤動作の原因になる場合があるため、センサー部周辺には空調の吹き出し口や開放窓などがないように設置してください。
- 故障の原因になりますので、ランプ本体に強い衝撃を与えないでください。
- センサー部に力を加えないでください。誤動作や破損の原因になります。
- 帽子やマスク、手袋などを着用し、肌の露出が少ないと、反応しにくくなることがあります。
- ラジオ、ワイヤレス機器は、なるべく照明器具から離して使用してください。雑音が入ることがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とリモコン受信部を離して使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では、音響製品に雑音が入ることがあります。器具と音響製品を離して使用してください。
- LED照明は、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。
- 表示が発光するスイッチに使用した場合、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- 照射距離が近い場合、光ムラが発生する場合があります。